

NTR! ? 人妻

～義妹に孕まされる妻～

完成版っ!!

ボクが一番
姉さんを愛せるんだ...

FUTANARI FANTASY

creating by 木星ろっく
&
暮島弘人



NTR! ? 人妻

～義妹に孕まされる妻～

完成版っ!!

ボクが一番
姉さんを愛せるんだ...

FUTANARI FANTASY

creating by 木星ろっく
&
暮島弘人



NTR! ? 人妻

～義妹に孕まされる妻～

完成版!!

FUTANARI FANTASY

creating by 木星ろっく
&
暮島弘人

孕ませたいわね
中にだせっ!!



僕たちは長男一家の葬式に出ていた
そして、葬式後「すぐに来るように」と父親に言われていた

呼ばれた理由はなんとなく察しはついてる

先日、長男一家が交通事故で亡くなった。
恐らく、本家の跡目のことだろう。
僕の妻である茜さんも一緒にくるように言われているのだ

茜「次郎君！顔が情けなくなってるぞ！！
ピシっとしないか！」

茜さんが僕の尻を二発叩く



茜さんとは職場の上司と部下の関係だった。

入社してすぐに茜さんの下につき

ビジビジとしごかれた、仕事のできる人だったので

僕自身のスキルも順調に上がっていった。

姉御肌の茜さんに僕はグイグイ惹かれていった。

これだけ美人なら当然だ。

社内外問わず茜さんを狙っている人は少なくなかったが

茜さんはガードが硬く、男と二人きりで食事にすら行かないような人だった。

そんなある日、茜さんの母親が病に倒れる

珍しい病気で高額の医療費がかかるらしく

茜さんは途方に暮れていた。

僕自身に力は無かったが

実家は財閥とも繋がりがある非常に裕福な家庭だった。

僕は昔から苦手だった父ではなく、兄さんに話をし

一緒に父にお金を出してくれるように頼みに行った。

最初茜さんには断られたが、強引にもお金を受け取って貰った。

あとから聞いた話だが、当時は相当参っっていて

崩壊寸前だったらしい……(全然そんな風には見えなかった)

相手の弱っている所に付け込んだ形だが

僕は全力で茜さんが好きだったので

困っている茜さんを放つてはおけなかった

その事がきつかけで、ふたりで時間を過ごすことが多くなった

茜「ホラー！行くわよっ！

アンタはもう私の旦那なんだから、堂々とするんだっ！」

結婚しても、上下関係は相変わらずだが

僕らにはこの関係がピッタリなのだ。

そして僕らは、父の元へといった

現当主の祖父も年だ。早急に跡取りを作らねばならない

「どうせ、養子でもと考えているのだろう……」と思っていたが

父はとんでもないことを言い出した――

父「茜さんには、当家の血を引いた子を産んでもらわねばならない
でなければ、弟に家督を継がれてしまいかねない」

父の弟（ススム叔父さん）の息子（従兄）は優秀な人で
去年三人目の男の子を産んだ。

祖父は、血筋を考え、叔父に当主の座を託すかもしれない
父はそう考えたのだ

僕「……でも、父さん……僕は……」

父「お前が種無しなのは解っている。
だから、ワシと愛人の間にできた子と
子をなしてもらおう」

僕「そんなっ!!」

父「ススムは我々本家を疎ましく思っている
このまま家督を継がれれば
お前ら夫婦もどうなるかわからんぞ?」

僕「確かに、僕が居る会社は
この家の事業と関わっている
だからってそこまで……」

父「アイツのことは解っているだろ? そういうヤツだ」

父「どうしても嫌なら、茜さんには、私の子を孕んでもらう」

僕・茜「なっ!?!」

父「嫌だろ?それにワシだってもう歳だ
仕込めるかどうか……」

茜「解りました……」

僕「茜さんっ!」

茜「すまない。だが、こうするしかない」


僕「でも……茜さんは……いいの?」

茜「ふっ……私の心配などするな
……大丈夫だよ」

茜「それに。。。相手は女の子だろ？」

僕は何も言えずに
頷くことしかできなかった






早速、今日からこの家に泊まり
妊娠するまで、子作りをすることに


のおんに会うのは
いつぶりだろう…

私達の結婚式の日に初めて会って
それからこの家に来る時に
数回挨拶した程度…

そんな子と私は
…子作り…



のおんは次郎君の腹違いの妹で
身体的に少々変わっている



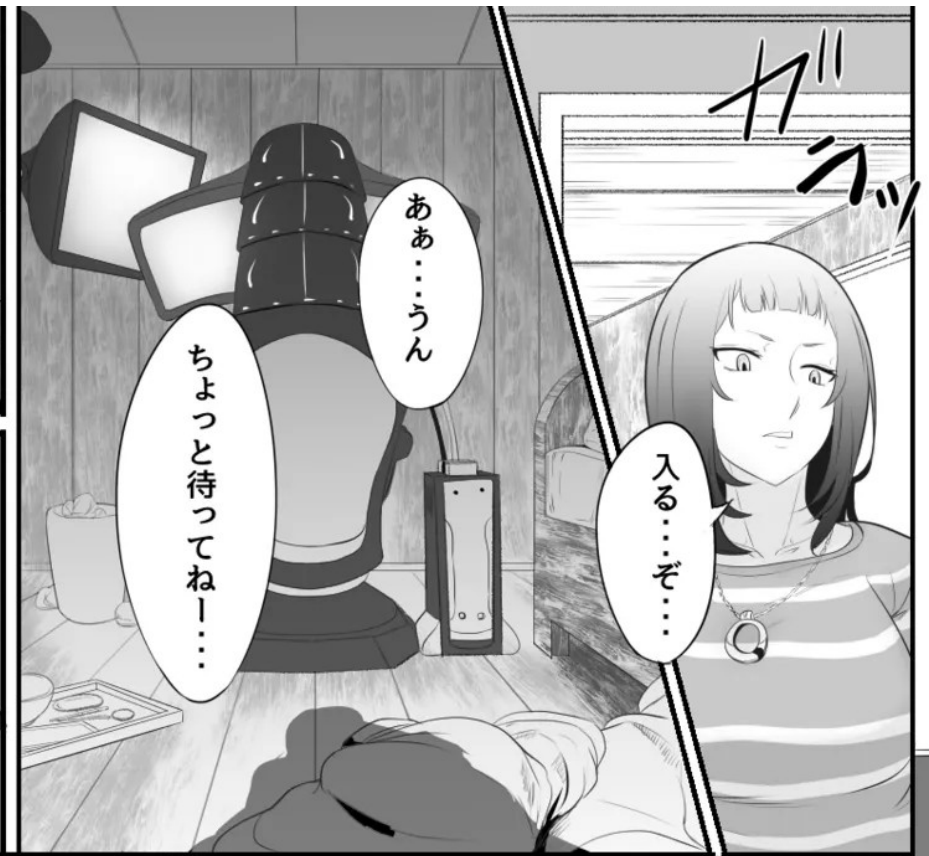
そのことが原因だとおもうが
愛人はのおんを残して
行方をくらまし
お義父様がこの家で引き取る
ことになった

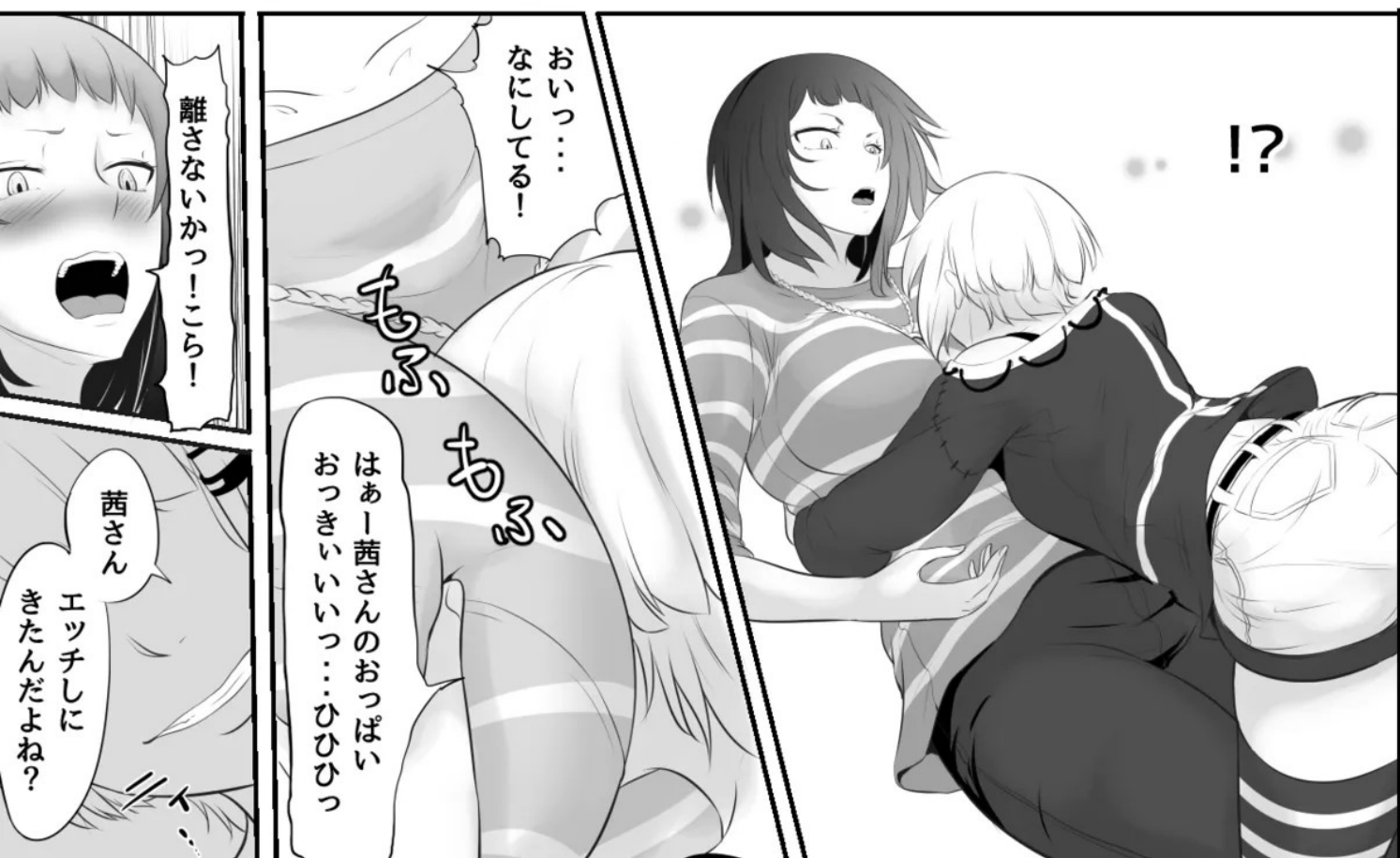
その異様な見た目から
この家では恥物扱いされ
部屋に籠っているように
言われているのだそうだ

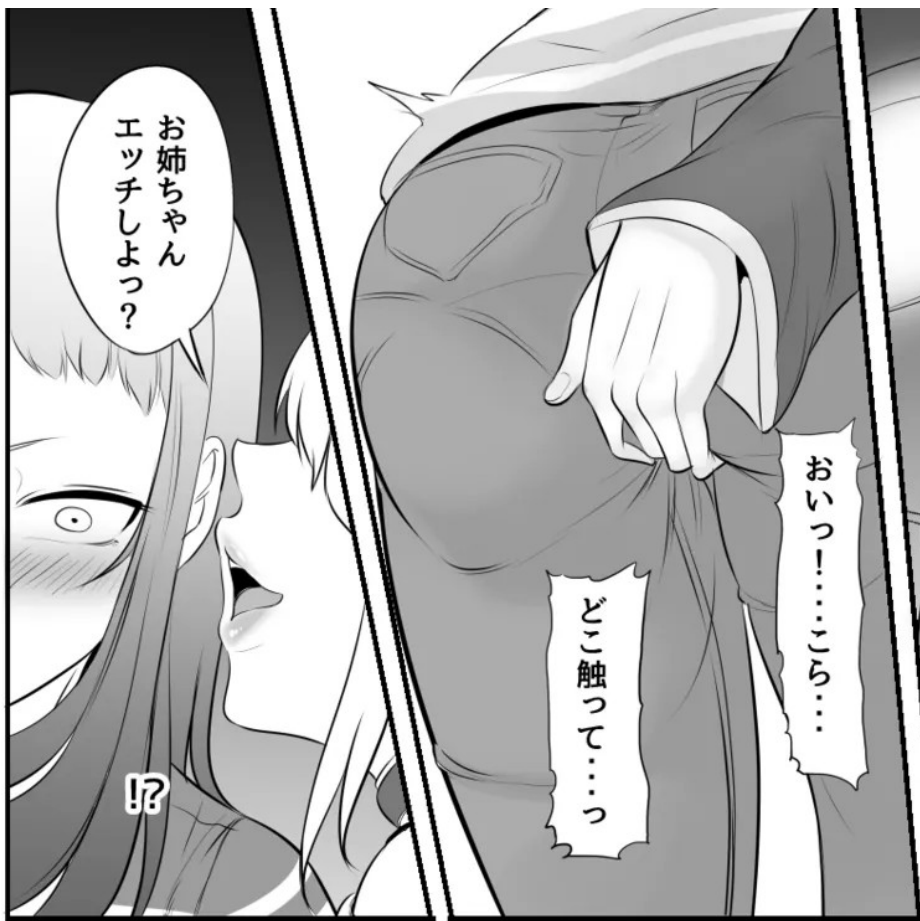
本人も滅多なことでは
部屋からは出てこないし
本家、分家問わず
虐げられているらしい

次郎君はおんに
一切関わろうとせず
私にも関わるなど言ってきた









うあああでつかーい！
ポインポインだね！

ふんっ別にお世辞なんて
要らないぞ

お世辞じゃないよー…ホラ

もうこんなに…へヒヒッ

それに肌も綺麗だし
スタイルも抜群っ！

…ごくり

ギンギンじゃないか！
それに…こんな大きさ
…初めて見る



のおんが虐げられる
最大の理由がコレだ

女の子なのに男性器が
生えている

姉さん…ホラ

へヒヒ！ほらほら
チンコふとももに擦り
つけちゃうよお？

いいのかなあ？
ふともも
汚れちゃうよお？

MR...
MR...

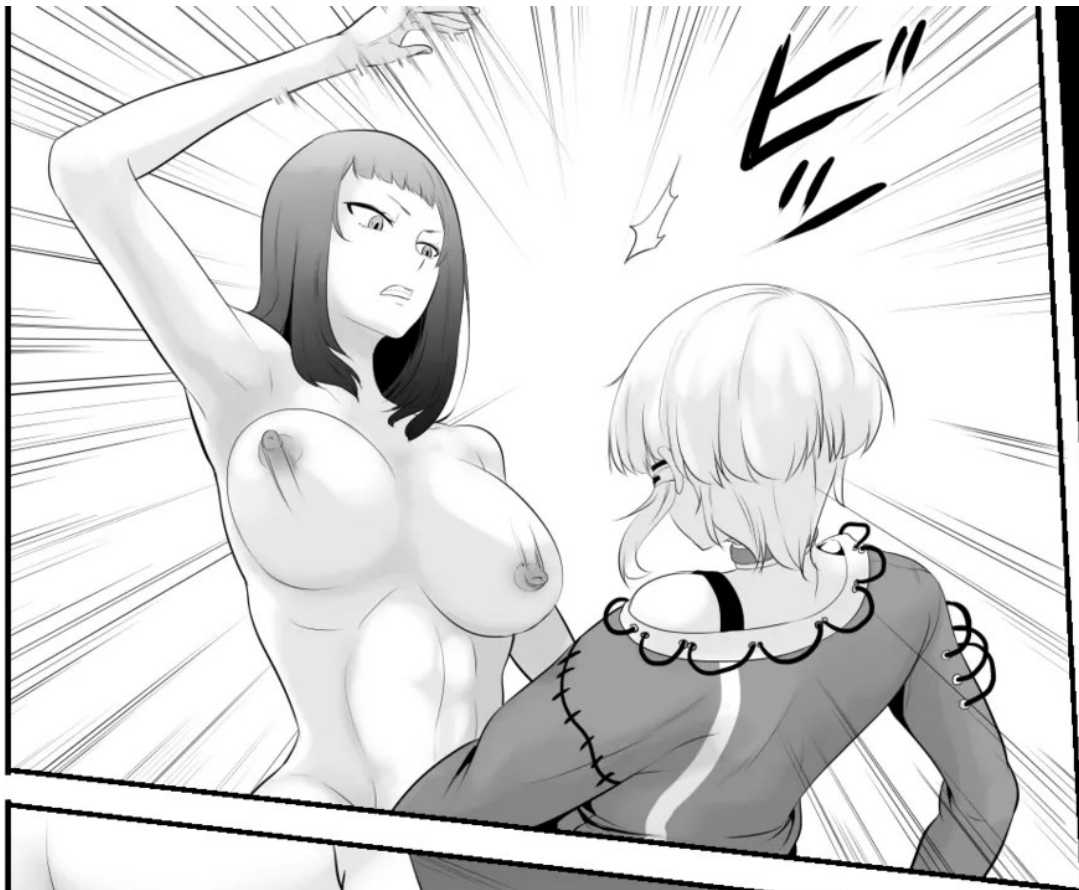
はあ…はあ…
ふとももお…

おお…
あつ…おおお

おっ
ふともも
きもちいい

はあ…生娘でもあるまいし
これくらいで騒ぐとも思っているのか？





そんなわけないだろ!!

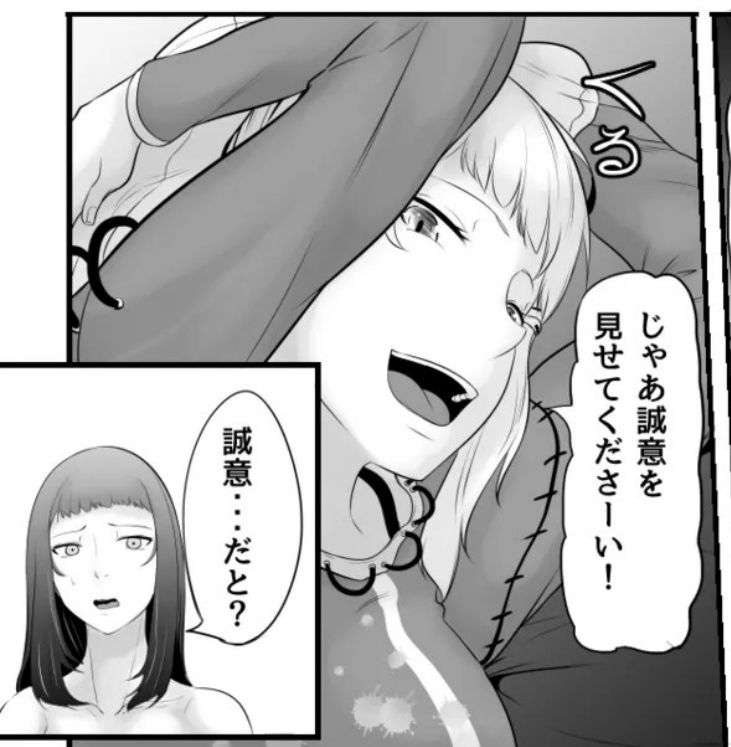


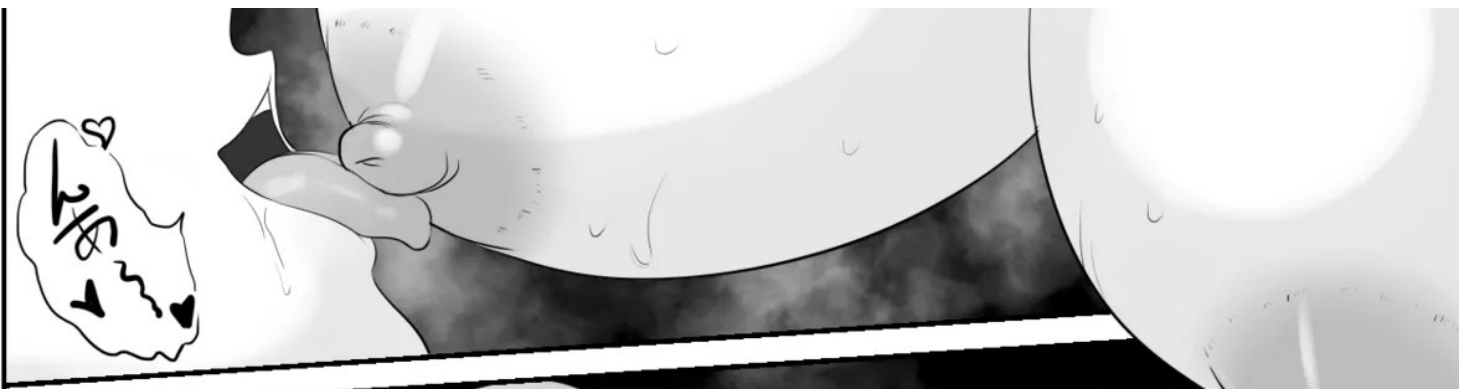
え...なんで?



お前とは事務的に子作りをするだけだ!

私は次郎君の物っ!
勘違いするんじゃないっ!!





おい…もういいだろ？
十分勃ってるぞ？

ちゅ…ちゅぽっ…
ん…でっなだい…？

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ちゅく
ちゅく



へヒヒ！そそるゝ
人妻からの種付け依頼

はあゝったく…
私と子作りしてくれ！

ちゃんと言って
くんないとなあゝへヒヒヒヒ



へヒヒッ！ほおら
兄さん以外の…
旦那様以外の
チンポが
入っちゃうよ

いいから早くやれ！



じゃ…
遠慮なくっ！

んあっ…くっ…

やっぱり大きいっ…
声だけは我慢しなくては…
感じてると思われたくないっ

奥まで入ったぞ…ん？
のおん…どうし…

ああっ！！





だって…ボク…

プルプル

プルプル

初めてだったからあ…

あっ…

そりやそうか
部屋に籠りつきり
なんだから…



はあ…はあ…

それに姉さんの中
想像以上に気持ちよくなって…

想像って…お前っ

んおああっ!?



おまつー！

いったばかりで…っ

姉さんっ！気持ちいい！
気持ちいいよおおお！

一回や二回出した
だけじゃ収まらないいいい！

ダメだ…
聞こえてないっ…

すぢゅ
すぢゅ

すぢゅ
すぢゅ



姉さんっ！！

んはあっ！

あぁあ

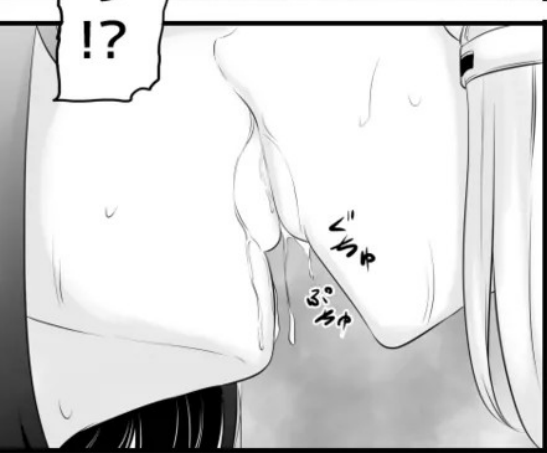


それにしてもっ…くう！

あっ…あっ

激しすぎるっ！
ゴツゴツと奥まで来て
…声が出てしまうっ！

グッ
グッ
グッ





熱いのが…奥にいつ感じるううっ!

なんて量だっ!?
二回目なのに
さつきより出てる!

妊娠……するっ



射精がまだ
終わっていないぞ!?

うっ…うっ…!

はあっ! はあっ!

姉さんっ! 姉さん!!

拙い腰の動きだったが
夢中になって私を犯し続けた

精液でぐちよぐちよにされたアソコは
ペニスで擦られるだけで気持ち良く

一回絶頂させられた私は
突かれる度にイクようになっていた

当然、声など
我慢できるはずもなく

突かれる度に…
イカされる度に…

下品な声をあげていた

ヌボニ

ははははは
ははは

んんん

ははは

ははは

ぬい

ははは

ははは

イッ

おはは

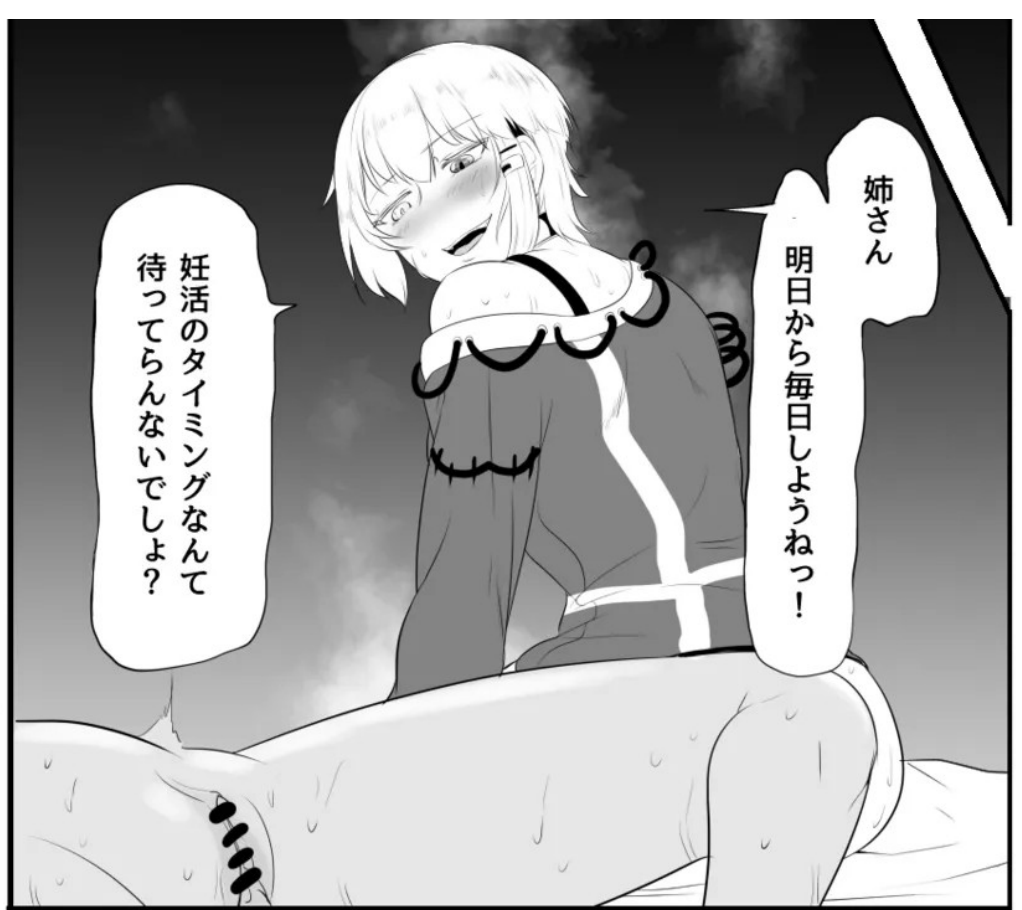
イッ

ははは

ははは

ははは

ははは



妊活のタイミングなんて
待ってられないでしょ？

姉さん
明日から毎日しようねっ！



これが...

毎日...だと？

あ...ああ...

茜さん……

茜

「大丈夫だ！そんな心配するな！
お前は今日から会社だろ？」

「ここからだ」と距離があるんだ
急いだ急いだっ！！」

次郎「うん……」

（茜さん……母親が病にかかってた時と
同じ雰囲気だ……）

昨日はふらふらになりながら
僕らの寝室に帰ってきた
お風呂に入ってきたらしく、濡れた髪からは
いい香りがして、頬はほんのり赤くなっていた

そんな茜さんに僕は何を言ったらいいか
わからずに、ただただ抱き留めることしかできなかつた

義理の妹に

抱かれたばかりの妻を……

そして今日も茜さんは
アイツによって犯され
種付けをされる——

ドグンっ——っ！！

？……なんだ……この気持ちは……？



流石に元気なかつたな
アイツ…同然か

自分の妻が他人に
抱かれてんだからな
…仕事大丈夫かな？

はあくこんな時まで
仕事の心配って…

はいはい

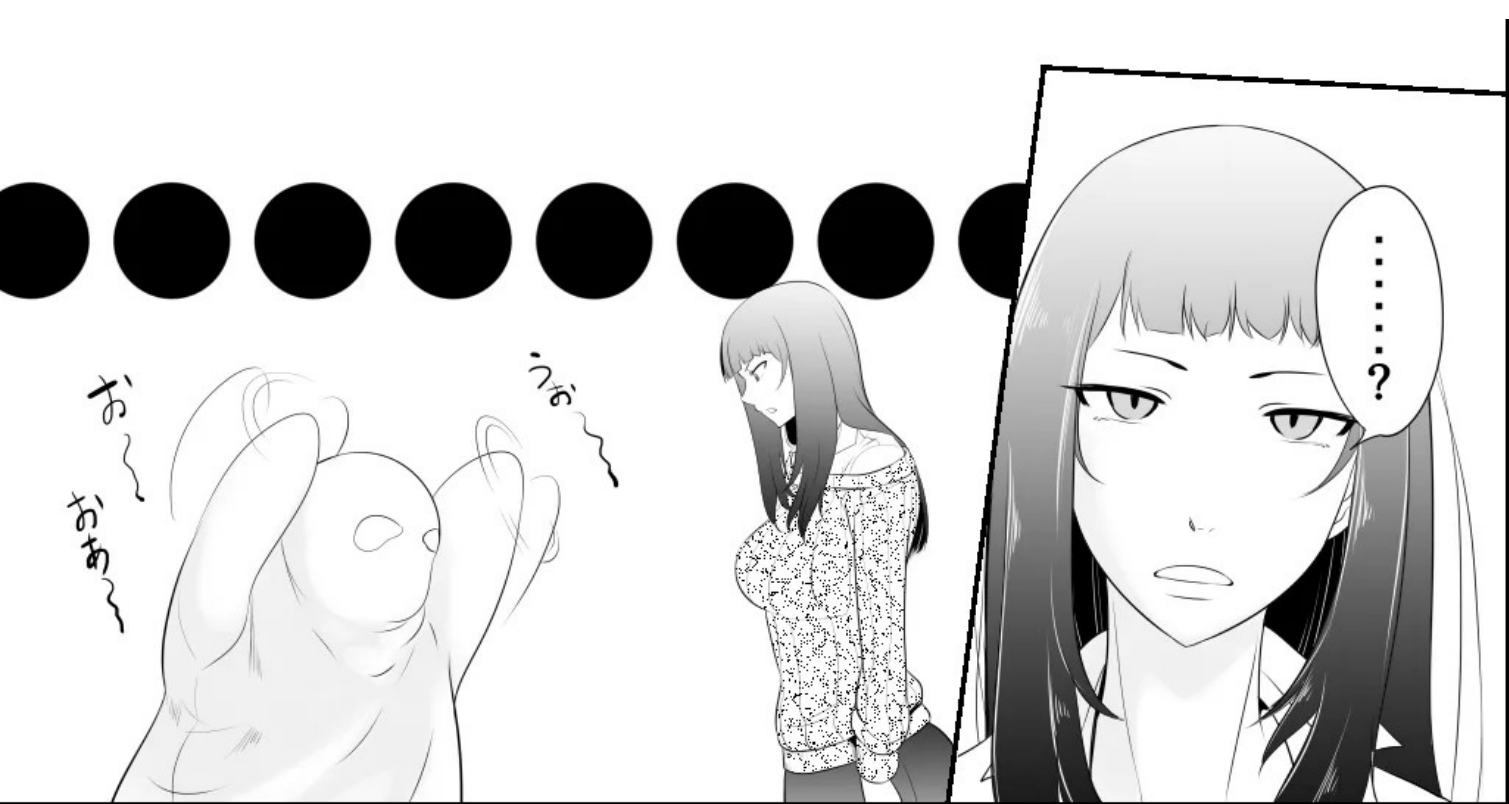
？

おい…のおん？

おかしいな…声はした…

うあああああああ
お化けだぞくおおおお！

ガッ
オ







くっ…なんで私が
こんな恰好を…っ

と言うか
なんだこの制服はっ！

へヒヒッ…そりゃ
毎日犯るんだから
趣向を凝らさいと！

29歳人妻の
制服姿…

えっろおっ！

くっ…シロシロ
見るんじゃないっ！

へヒヒっ！見るために
着せたんだよ？

あーもうっ
いいから向こう向け！



あーかーねーさあーん



まだあ〜？



ほ…本当に
この恰好じゃなきや
だめか…？

着たならばやくー



なあおい…
タオルとかじゃ
ダメなのか？

うん ボク肌が弱いから
タオルで洗うとボロボロに
なっちゃう

そうか…
なら仕方ないな



若い肌って感じ…
まあ実際若いか



柔らかくて
暖かい



小ぶりだけど
ちゃんとした
おっぱい…



それにしても…

綺麗な肌だ…



おっおっお
犯すって…お前っ

へ!? いいいや
洗ってるだけだぞ!

へへ…別にいいよ
姉さんの手に犯されるの
気持ちいいし…へヒッ♡



んう…姉さん手つきが
やらしいよぉ〜



こんな感じか?

ど
ちゅ

女のって…

他人のアソコを
触るなんて初めてだ…



姉さん…

女のこども…
気持ちよくして



はあっ…あっん…

姉さんのお…手が

ボクのマンコを
虐めてくるよお！

もみ
もみ

こらっ！変なこと言うな
洗ってるだけだぞ！



おちんちんが
勃起した…すごい
大きいかも…



乳首も…こんなに



あぁあっ!!

ギギギ





姉さん…

人妻がソーププレイとか
エロ過ぎっしょ？www

ぬれぬれ

お…お前が
やらせてるんだろ！

ぐちよ
ぐちよ



へヒヒ…さあ姉さん
次はボクに塗るんだよ？

勿論その
スケベな体を
使ってね♡



はあー……つたく

わあ〜お凄おい……
姉さんに襲われてるみたい

襲うかバカ!

おいっ!
腰を動かすな!

すりゅ
すりゅ
すりゅ
すりゅ

ヌヌ

ヌヌ



へヒヒ……
感じちゃうんだ

感じてなど……

むに……

むちゅ

んっ!

ぬちゅ



姉さんの感度
上がってきてるよお?

乳首ピンピン

んあっ……



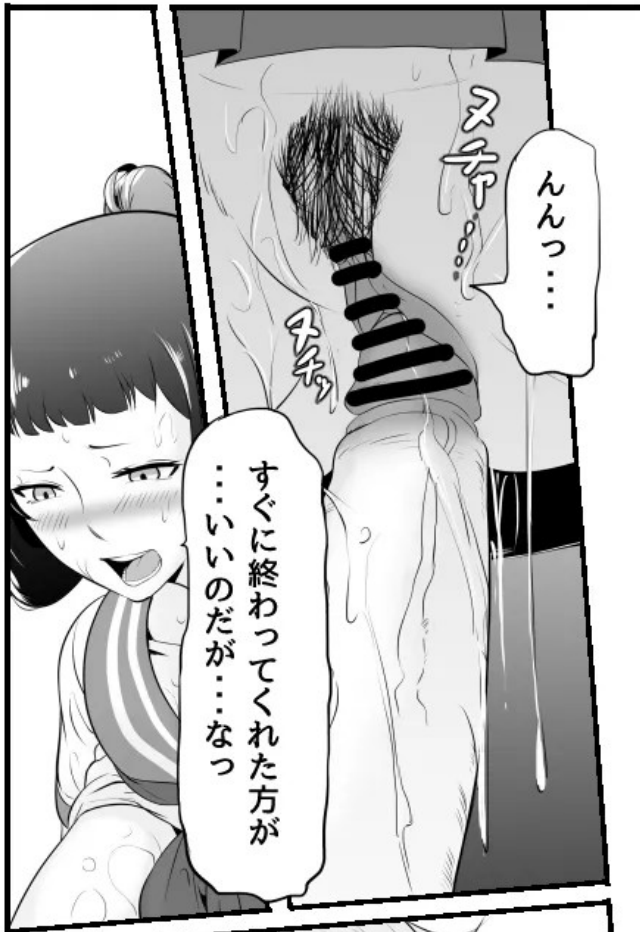
のおんの体も
私の感度を上げてくる

悔しいがローションが
気持ちいい…

んんっ

んんっ

カリカリ



すぐに終わってくれた方が
…いいのだが…なっ

ヌチャ
ヌチャ

んんっ…



今日は姉さんが
先にイクかな

へびっ…



挿入れるぞ…のおん…

はあ…
はあ…

ああ…自分から
欲しがるなんて…

うん、すぐに
イかないように頑張るよ



へヒヒ!
手伝ってあげたよ

どうする?
このまま僕が動く?

こいつは昨日まで
童貞だったクセにっ

よへいなんざっこと
しゅるなあああ



感じすぎて...
腰が上手く動かない



まずい...最初の二撃で
おマンコがバカになってるっ!

わらしが...
うぐくぐ...



へびびっ

姉さん騎乗位慣れて
ないのかな？

兄さんには
してあげてないの？

アイツのことは…
言うつなあーっ

仕方ないなあ
ボクが動いてあげるね！



えっ？ちよつ待て！！
自分のペースで…

ウ
ッ
カ
ッ

ぐ
ち
ゅ

ぶ
ち
ゅ

こんな感じのが
数日間続いた

様々な服に
多様なプレイを
強いられ

彼女のご機嫌を
とるために

妊娠するのにも
何の関係もない
ことをして体を
ザクメンまみれにし

彼女がしたくなったら
私のマンコに
種付けをする

私はなんの
主導権も握れず
歳の離れた義妹の
言うがままに従い
奉仕していった

そんなことを
毎日やっている中で
私はの体は……

ついこの前まで童貞だった子に
快楽を教え込まれたのだった



…今日もいつぱい出して
あげたよ…姉さん

くぶうう…

快楽に体中を
支配されようとも

私の心は…心だけは夫の…
次郎君のものでなければと思い
耐え続けていた…

へひひ…
今日も…お精子
ありがとう
ごじやいましゅ♡

私の心は次郎君のものだ…



—数日後

今朝は茜さんの様子がおかしい
……なんと言おうか
ソワソワしているような？

茜「どうしたんだ？」

さっきから私のこと見てないか？」

次郎「えー？……いや、その

どんな感じなのかなって」

茜「え？どんなって？」

次郎「あっ！いや……なんでもないよ！」

(なにを聞いているんだ僕は！)

茜さんが妹に種付けされているんだぞ？

それを聞いてどうしようってんだ)

茜「あ、うん。まあ……ちょっと激しいし、チンポが大きいけど……大丈夫よ」

次郎「えっ！？」「ドクン——ッ!!

茜「回数も多くて、大変だし……

最近じゃただ突くだけじゃなく

私の弱い所をチンポでぐりぐりしてきたり

とにかく私をイかせようとすのよね

まっ私にかかればちよるいわよ！—

次郎「…茜…さん？」

茜「って、もう！なにを言わせてんのよ！
朝っぱらから！」

パンツ——っ……

次郎「それじゃ…行ってきます」

茜「うん…気を付けて。頑張ってね！」

なんだろう…茜さんがあんなこと言うなんて…
普段ならセックスとか下の話しない人なのに
それにもよっと…浮かれてなかったか？





朝っぱらからナニの話をされてたんじゃ〜？

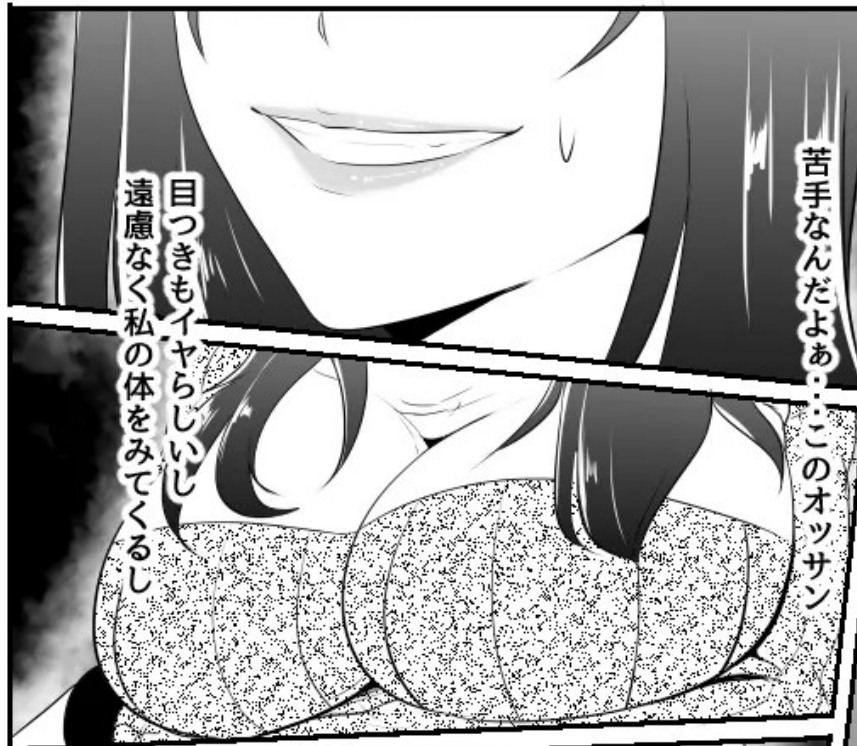
あつ！進叔父さん…おはようございます



はあ〜…私は朝っぱらから何を言っているんだ



茜さあん



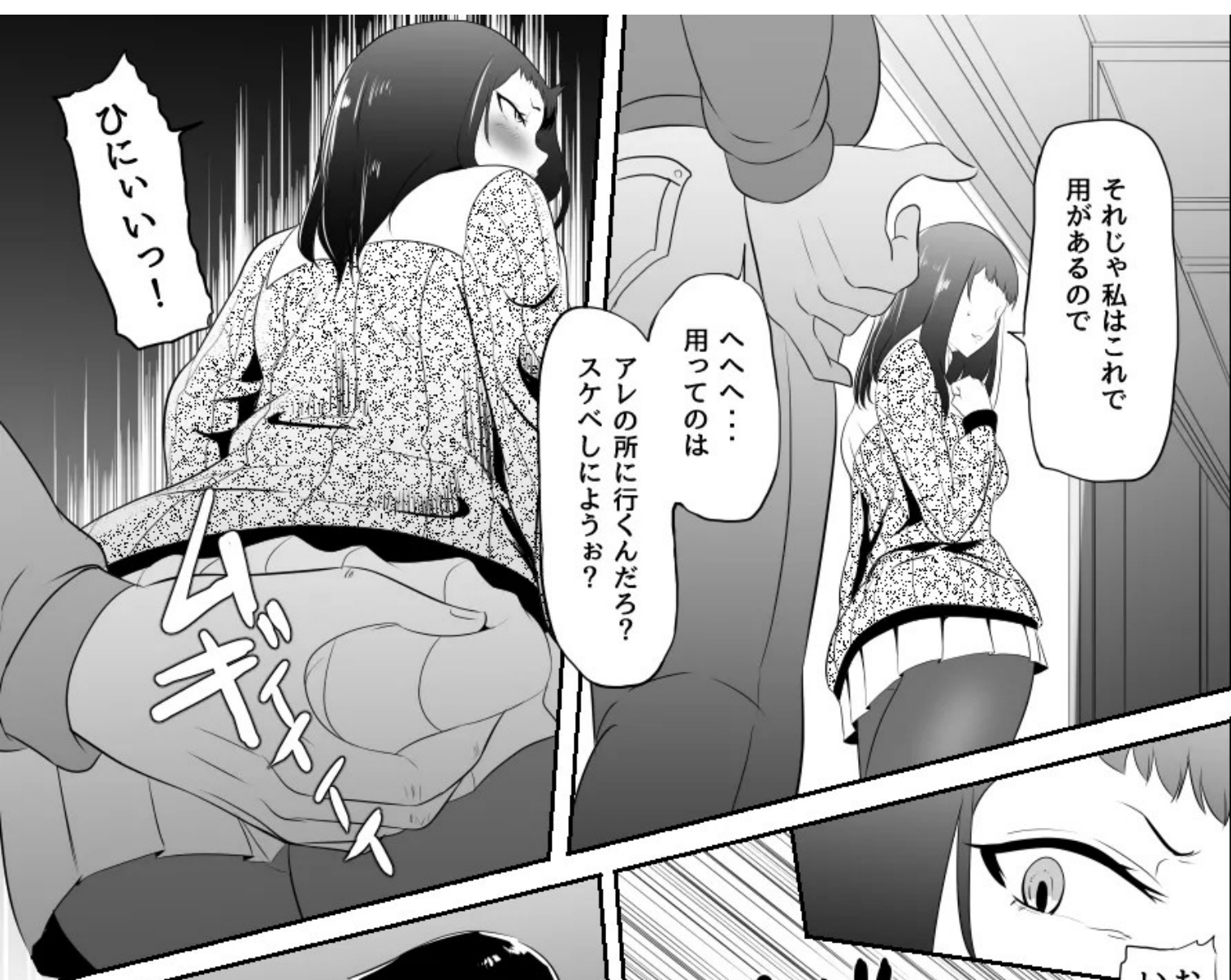
苦手なんだよあ…このオッサン

目つきもイヤらしいし遠慮なく私の体をみてるし



むふふふ…ふん

…？







化け物め…気持ち悪い…
まったく…

ジュウ
ジュウ



ああ〜？

キッ

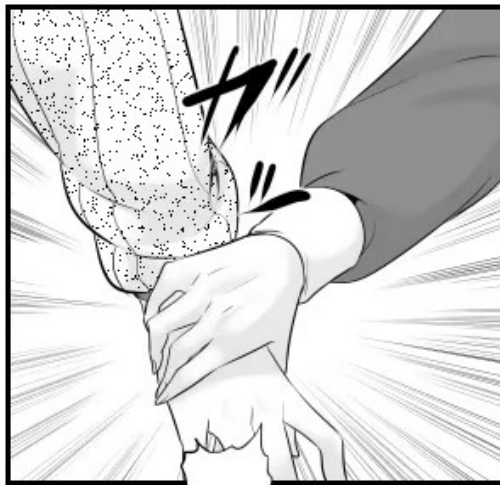


くう〜…

くうっ！



急にどうした!?



ガッ



おっおい！のおん？



…あつ…のおん

その…ありがとう…



ジュウ



おあつ！…ちよ
急にどうした？

アイツに…
どこ触られたの？

ちよつ…おい
ボスニ

え？あゝいや…尻
だが…なんだ？

キィ…



汚された！ボクのなのにい！

あんなクソ汚い
ゴミじじいにい！

またボクのものにつ！
ボクのものにい！！

おい！やめろ！
まだ準備できて…

ちゅ…

え？



うそっ！
私のアソコすんなり
のおんのを受け入れた!?

体が勝手に
反応しちゃってるの!?

姉さんは世界で一番
大切な存在なんだよ…

…姉さん覚えてる？
ボクに初めて声をかけて
くれた時のこと

のおん…待てっ

母さんからも
ボクは疎まれていたのに

姉さんだけが違った！
ボクをちゃんと見て
ボクを人扱いしてくれるんだ!!

乱暴にするなっ

学校のヤツも
近所のヤツも家族も…

壊れううっ！

んあああつ！

この家に来た時にボクを見たら
いつも挨拶してくれるし!!



いろんな感情が
この子の中から
溢れてきてる…

悲しみを植え付け
られて育った心が…



そうだ！いつだったか
ボクにお菓子くれたでしょ！

仕事であったムカつく
話もしてくれた！



私に向かってきている



欲求や独占欲が

嫉妬心が

怒りが

姉さんっ！好きだよっ！！
ボク、姉さんのこと

本当に愛してるんだっ！！



お前の側に居る

だが

すぬ、すぬ

…ずっとだ!

ズグ

ズグ



のっ…おん
聞け…んっ

…前も言ったが
私はお前だけの物には…

なれないっ…んあつ

ギ ギ



んあつ♡

茜さあんっ



淫らにした責任を
取ってもらわないとな…



お前を…っ

都合のいい
道具扱いはしない



それに…

お前には私の体を…



…妊娠して
終わりじゃないの!?

終わりじゃ…
ないぞっ!!

おっお♡…
おう♡

一年後

茜 「それじゃ次郎君、行ってくるわね」

次郎「う……うん……」

茜 「はあ、まったく君は……」

「シャキツとしないかっ！ 四条院次郎っ！」

次郎「あの……茜さん……もういいんじゃないかなか？
のおんの所に行かなくても……」

茜 「それは散々話合ったろ？」

「お義兄さんみたいなこともあるし
人数は多い方がいいって」

次郎「そうれは……そうだけど」

茜「よしっ！じゃっ行ってくるぞ♡」

次郎「あっ！茜さ……」

茜「しっかり世話を頼んだぞ！
お父さんっ!!」



産まれて一ヶ月の赤ん坊を僕に預けて
茜さんは行ってしまった

嬉しそうに……ウキウキしながら

のおんとの子作りは成功し
僕らは晴れて親になった。

しかし、茜さんから提案があり

一人だけでは何かと不安だからと
もう一人作ると言う話になった。

僕的には一人で十分だと思つた……なにしろ
あれ以来僕は茜さんとセックスをしていない
妊娠中は勿論だが
子作り中も茜さんの体力を気遣つてしていません。

子供が生まれ、落ち着いたころに
やっとなんか茜さんとできると思つていたので……

兄さん一家の件でナーバスになっている

父の後押しもあり、二人目を作ることに

そして茜さんは、毎日のようにのおんとセックスをしている……

抱きたい。。。僕も茜さんを抱きたい。。。

あの豊満でムチムチなおっぱい。。。

仕事熱心だった茜さんらしく
僕のチンポを丁寧に舐めてくれて。。。

普段の凛々しい顔が僕のチンポで淫れる。。。

おんぎやあああああああああああつ！

赤ん坊の泣き声に、心の中から現実に戻される。。。



茜さんっ！見て見てえ！

おおー！凄いな
…これは私だな？



そうか…すごいな…
はあ…はあ…

茜さん…
聞いてる？

次郎の10倍は…はあ…はあ
軽く稼いでいるぞ…はあ

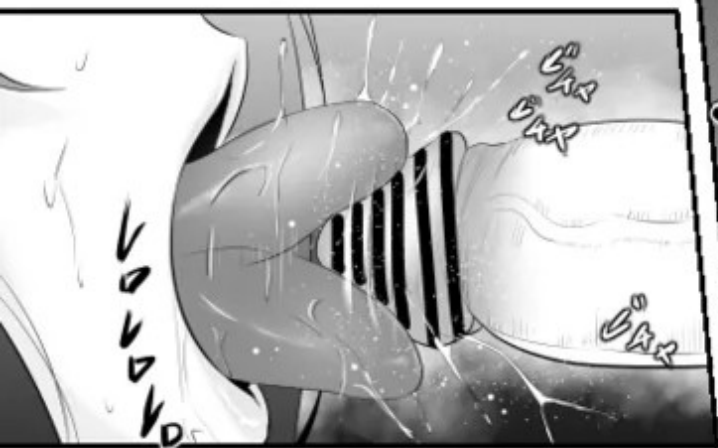


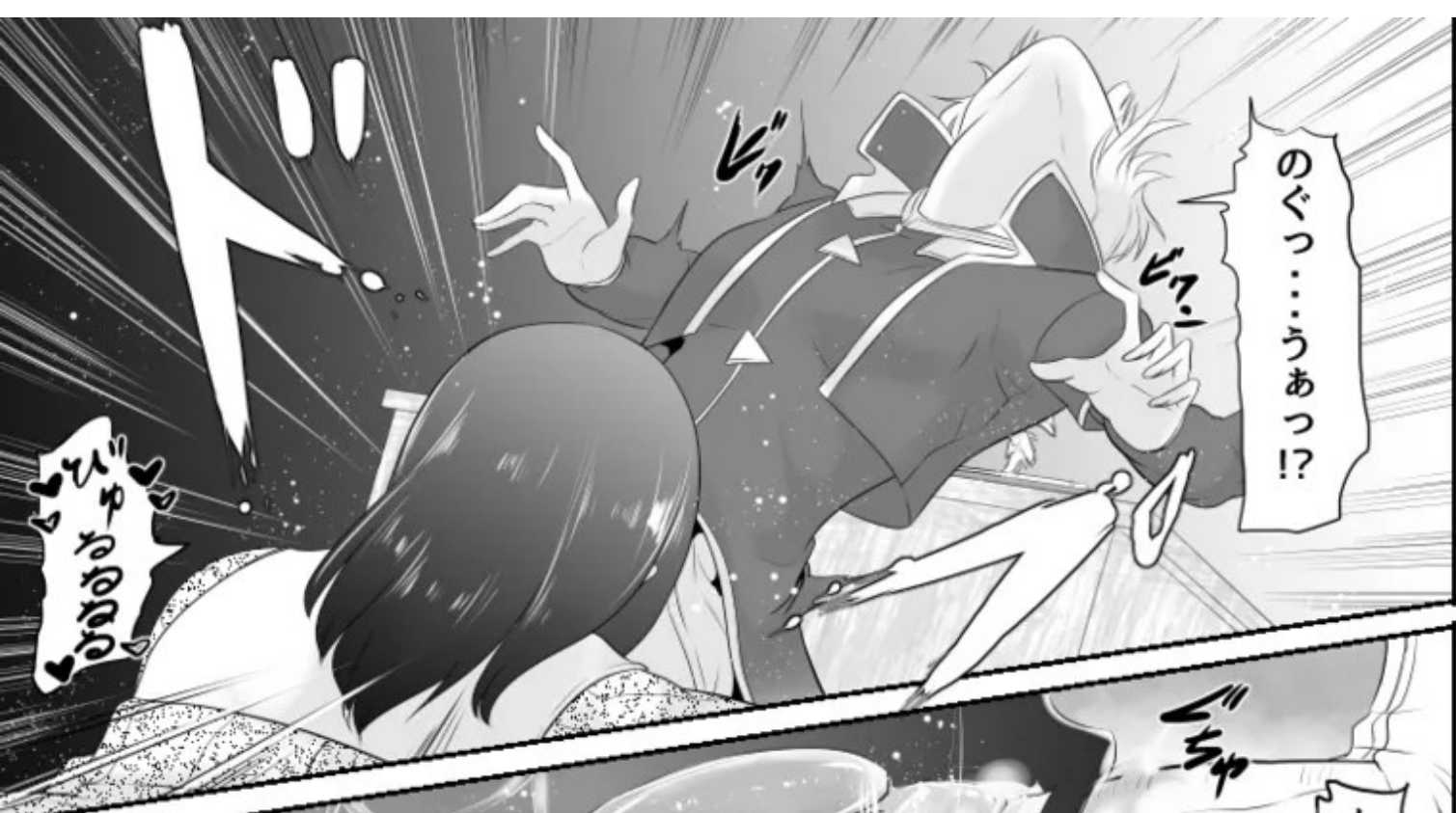
そう！新しい事業で
ホロテリアって言うんだ！

最近ではミニマリスタが
増えてるからホログラムで
部屋を飾るのが流行って…

てえっ!?

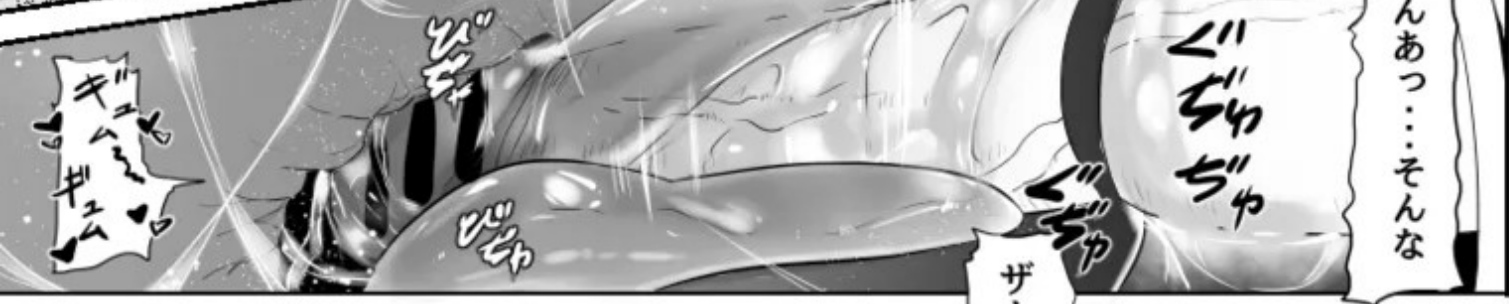
キコッパッパッ…





のぐっ...うあっ!?

びんびん



んあっ...そんな

キュンキュン



んふふふっ...

精液塗れチンポの
出来上がりい♡

ヌルヌルで気持ちいい...
射精止まらなくなうう♡

ザーメン塗りつけたらあつ

びんびん

どろろ

どろろ



はあはあ……茜さん

さあ次はその
ザーメンチンポで
ハメまわしてくれえ♡



精液チンポ
きたああああ♡

あひひひ♡

今日は土曜日であいつが赤ん坊の
世話をしているから
一日中だってできるぞ？

おひひひ♡
ずりゅ♡
ずりゅ♡
ずりゅ♡







妊娠させながら
腰をふれえええ!

んぐうっ

このままっ!

お前も体液
まき散らしながら

ぐんぐん
ぐんぐん

ギッ



呼ばれながら
種付けされるのが
気持ちいいんだっ!!

姉さっんっ!!

お姉ちゃんっ!
お姉ちゃんって呼んでくれ!

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

姉さ……んっ

お姉ちゃんっ!

のおんチンポお!

お姉ちゃんっ!

お姉ちゃんっ!

のおんっ!

のおんっ

気持ちいい♡

じゅとお・じゅつと一緒だぞっ
のおおおおんっ!!

うんっ!うん!お姉ちゃん!
ずっとボクがお姉ちゃんを
喜ばすんだああ!

だがらお姉ちゃんっ!孕んでっ!
孕んでっ!お姉ちゃああんっ!

はーん

はーん

ギィッ
ギィッ

ギィッ
ギィッ





来て…子宮に来てええ

しええ液…

はあ…はあ…

?お・姉ちゃん?

あああ!!止まらなっ…

おっ…あっ…出りぬ…







はじめは義務感でしていた

なのになの間の間に
のおんとのセックスを
生きがいとしている

そんな私が出来上がっていた…

彼女の一途な想いに心を開かれ
体に与えられる快楽に抗えなくなったのだ

もう子作りなんてどうでもいい
私はおんのが好きだ

誰よりも…愛している